

クロエゾマツハバチ (仮称)

春にエゾマツの新芽を食べるイモムシ (幼虫) 。 最大長約13mm。 体は黄緑色, 終齢になると背面に3本の暗い縦縞が現れ, 側面に黒い斑紋が列状に並ぶ。

庭のエゾマツ低木で多発した例がある。 食害により枝先が枯れることがある。



1. 中～終齢幼虫, 体長最大12mm. 1992/6/10.



2. 被害枝. 1992/7/4.



3. 雌成虫, 体長6.5mm.



4. 卵. 1992/5/20.

1～4. 新得町の庭のエゾマツ低木に多発した個体群を撮影。

【学名】 *Pristiphora* sp. (種名未決定)

【分類】 ハチ目 (Hymenoptera) , ハバチ亜目 (Symphyta) , ハバチ科 (Tenthredinidae)

【生態】

宿主: エゾマツ, ヨーロッパトウヒ (少ない) .

年1回発生。エゾマツの芽が開く頃 (5月上中旬) に成虫が現れる。雌成虫は開いたばかりの新芽の葉に卵を1個ずつ産み付ける。産卵は特定の新芽に集中する傾向があり, 幼虫は集団でいることが多い。6月中旬には十分成長し, 地上に降りて落葉中で繭を作る。繭内で越冬する。

【被害と防除】

庭のエゾマツで多発を1例観察している (写真) .

食害により枝枯れが生ずる場合があるので、幼虫をみつけたら取り除く。

【文献】

*1993. 原秀穂. トウヒ属を加害するハバチ科 *Pristiphora* 属 3 種の区別点と生態について. 第41回日本林学会北海道支部論文集: 85-87.

*の文献は北海道立林業試験場ホームページの「北海道立林業試験場・研究成果文献データベース」で見ることができます。

北海道立林業試験場・緑化樹センター

クロエゾマツハバチ habachi/kuroezo/
kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/8/21.
1yochu1.JPG, 1higai.JPG, 1seichu.JPG, 1tamago.JPG

「写真 1～4」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 1992.